

# 令和4年度 十神小学校 学校評価に関わるアンケート集計結果

令和5年2月16日  
安来市立十神小学校

本年度、本校では、「自ら学ぶ子（知）」「思いやりのある子（徳）」「元気な子（体）」を目指す子どもの姿として設定し、学校教育目標「学びあい 磨きあい 鍛えあいながらたくましく実践する子どもの育成」の具現化を進めました。

達成状況を確認するとともに次年度に向けての改善策を検討するために、2学期末、児童と保護者の皆様にアンケート調査を行いました。そこで、「三つの目指す子どもの姿」「家庭・地域との連携」について、結果から読み取れたことと、目指す対策の方向をまとめました。

回答は、「よくあてはまる」「あてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」「わからない」の5つからの選択とし、「よくあてはまる」：4点、「あてはまる」：3点、「あまりあてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点として、総得点÷人数で点数を出しています。

## I 「自ら学ぶ子（知）」について

保護者アンケート	令和4年度	令和3年度	児童アンケート	令和4年度	令和3年度
お子さんは、目標やめあてをもって進んで学習に取り組んでいる。	2.9	2.9	めあてや目ひょうをもって、進んで学習に取り組んでいる。	3.2	3.3
お子さんは、授業が「おもしろい」「楽しい」と感じている。	3.2	3.1	じゅぎょうは「おもしろい」「楽しい」。	3.3	3.3
お子さんは、授業がわかりやすいと感じている。	3.2	3.1	先生は、わかりやすく教えてくれる。	3.7	3.6
お子さんは、読み・書き・計算などの基礎基本的な内容を身に付けている。	3.2	3.2	正しく漢字を書いたり、計算をしたりすることができる。	3.2	3.2
お子さんは、相手（家族や友達など）に自分の考えや思いをしっかりと話している。	3.1	3.1	じゅぎょう中、友だちや先生にわかりやすく話そうとしている。	3.3	3.2
お子さんは、相手（家族や友達など）の話をしっかりと聞いている。	3.0	3.1	じゅぎょう中、友だちや先生の話をしっかりと聞いている。	3.5	3.4
お子さんは、家庭学習（宿題や自主学習）の習慣が身に付いている。	3.0	3.0	宿だいや自学をめやすの時間やっている。	3.1	3.0
お子さんは、読書の習慣が身に付いている。	2.6	2.4	進んで本を読んでいる。	3.1	3.0
学校は、お子さん一人一人に目を向けた学習指導をしている。	3.3	3.0			
学校では、学習の基礎基本が身に付くよう授業を行っている。	3.4	3.4			

### 1. 集計結果とめざす取り組みの方向

#### (1) 授業のわかりやすさについて

保護者の「お子さんは、授業がわかりやすいと感じている。」、児童の「先生は、わかりやすく教えてくれる」がともに上がっています。一人一人の「わかる、できる」を大切に学習を目指して授業改善を図ってきました。子ども達が興味・関心をもって意欲的に動き出し、粘り強く取り組むための学習課題づくりを大切にしています。また、子ども一人一人の学習の様子に応じて思考を促すための支援を考えたり、考えを深め合うための友達との交流の場を設定したりしています。これらにより、「最後まで挑戦し続けた」「褒められた・認められた」という自己肯定感を高め、学ぶことへの「おもしろさ」「楽しさ」を感じながら、「わかった」「できた」と実感できるような学習を進めています。さらに、今年度は島根県国語教育研究大会の発表、授業公開を行い、それに向けて教職員が共通理解を図りながら取り組んできました。その成果を今後につなげ、発展させ、授業改善に努めます。

#### (2) 基礎的基本的な学習内容の定着と学習習慣について

家庭学習については児童回答が、読書習慣については保護者、児童回答ともに上がっています。

基礎的基本的な学習内容の定着に向けては、授業に加え、学校や家庭での繰り返しの学習が大切です。校内では、毎週月曜日・火曜日に行っている朝学習に取り組んでいます。今後も子ども達の実態に応じた学習プリント等の教材を使いながら、学習を補充することで既習内容の定着を図ることさらなる学力の向上に努めます。

家庭学習では、子ども達から提出された課題に、教員から励ましの評価を返すことにより、一人一人の意欲付けと既習内容の定着を図ります。次年度も「家庭学習の手引き」をもとにして家庭学習についての指導を継続的に行うことで、各家庭のご理解とご協力を得ながら家庭学習の定着を図ります。

また、学年ごとに毎月1回実施している書き取り会、計算会においては、事前の家庭学習の取組や、事後の全体または個別の学習指導を大切にしています。今後も、子ども自らが達成度を確認するとともに、普段の家庭学習の成果を発揮する場として位置付け、事前・事後指導に力を注ぎながら、基礎的基本的な学習内容の定着に努めます。

#### (3) 一人一人に目を向けた学習指導について

保護者回答は、0.3上がっています。クロムブックの一人一台端末による取り組みや、一人一人の実態に即した学習指導についての取り組みを継続してきました。今後ますます、ICT活用が進み、子ども達一人一人に目を向けた学習指導が求められます。一斉指導と個別指導のバランスを図り、個別への配慮をした学習指導の充実に取り組めます。

#### (4) 読書習慣について

「読書の習慣」については、子ども達は学校では進んで読書をしているが、家庭ではあまり読書をしていない傾向にあり、家庭での習慣に課題があると言えます。今年度も本に親しみ、調べ、まとめる、発信する等の学校図書館を活用した取り組みを行ってきました。今後も言語活動の充実に取り組んでいきます。さらに、メディア教育の推進によるメディア接触時間管理の意識化や、宿題や生活チャレンジ（家読）等の活用を通して、家庭でも読書に取り組む姿が見られるように取り組んでいきます。

## II 「思いやりのある子（徳）」について

保護者アンケート	令和4年度	令和3年度	児童アンケート	令和4年度	令和3年度
お子さんは、学校・学級で楽しく安心してすごしている。	3.5	3.4	学校や学級で、楽しく安心してすごしている。	3.6	3.6
お子さんは、何でも話せる仲よしの友達がいる。	3.4	3.2	何でも話せる仲よしの友だちがいる。	3.6	3.7
お子さんは、誰にでも自分からあいさつしている。	2.9	2.8	だれにでも自分からあいさつしている。	3.4	3.3
お子さんは、ルールや決まりを守る力が育っている。	3.2	3.2	学校の決まりや生活目ひょうを守っている。	3.5	3.4
お子さんは、相手や場に応じて好ましい言葉づかいをしている。	3.0	3.0	友だちと話すときは言葉づかいに気をつけている。	3.5	3.3
お子さんは、悩みや不安があるときに、教職員に相談している。	2.8	2.7	先生方は、自分の気持ちをよくわかってきている。	3.4	3.3
学校は、善悪の判断やルール、マナー等を指導している。	3.4	3.4			
学校は、お子さんのよいところやがんばりを認め、励ましている。	3.5	3.4			
学校は、お子さんの悩みや不安を受けとめ、適切に対応している。	3.3	3.3			

1. 集計結果とめざす取り組みの方向

(1) 子ども同士のかかわりについて

学校・学級で過ごし方や友達関係については、保護者、児童ともに3.4以上と高い点数となっています。子ども同士の良好な関係づくり、集団づくりを進め、さらに安心して学校生活を送れるよう取り組んでいき、子ども達の「学校・学級での生活満足度」が高まるようにします。

(2) あいさつについて

あいさつについては、保護者、児童とも上がっています。毎朝の交通安全指導に併せたあいさつ運動や、毎月の地域の方によるあいさつ運動、児童会活動によるあいさつ運動等を行ってきました。また、子ども達も学級や学年で重点事項として力を入れてきました。今後も、取組の意味をふり返ったり、取組を再検討したりしながら、今後もあいさつすることの意識化と習慣化を図っていきます。また、家庭内、地域においても、子ども保護者自らがからあいさつする環境を高めていただけるようお願いしたいと思います。

(3) 言葉遣いについて

言葉遣いについては、保護者回答は同等、児童は0.2上がっています。子ども達が学校での友達を思いやって言葉遣いに気をつけて生活してきたことがうかがえます。言葉遣いも良好なコミュニケーションや人間関係づくりにとって大切です。日々の学校生活や学習活動、また、人権週間や児童会活動等によって言葉遣いを意識し、自分を見つめ直す機会を設けてきました。今後も相手意識を高め、相手を思いやり、その場に応じた言葉遣いができるよう育てていきます。ご家庭のご協力をお願いします。

(4) 子ども達と教職員のつながりについて

子ども達と教職員のつながりについては、保護者、児童回答とも同等か上がっています。教職員が子ども達を支えるためには、まず、一人一人を理解することが必要です。日々、子ども達と遊んだり会話をしたりする中で一人一人を理解し、子ども達と教職員との関わりを強くします。また、教育相談週間、アンケートQU、学校生活に関わるアンケート等の資料も活用しながら、子どもの変化に気づき、迅速に対応します。さらに、ご家庭との連絡、相談等の情報連携に努めます。引き続き、保護者の皆様のご協力をお願いします。

Ⅲ 「元気な子（体）」について

保護者アンケート	令和4年度	令和3年度	児童アンケート	令和4年度	令和3年度
お子さんは、毎日元気に登校している。	3.7	3.6	毎日元気に登校している。	3.6	3.6
お子さんは、「早寝」「早起き」の生活リズムが整っている。	3.0	3.0	毎日「早ね」「早起き」をしている。	3.0	2.9
お子さんは、毎日朝ごはんを食べてから登校している。	3.9	3.8	毎日、朝ごはんを食べてから登校している。	3.8	3.9
お子さんは、テレビやゲームなどのメディアの使い方について、家での約束を守っている。	2.8	2.8	テレビやゲームについて、家でのやくそくを守っている。	3.3	3.3
お子さんは、下校や休日、交通ルールや帰宅時刻を守りながら安全に生活している。	3.6	3.6	交通ルールや家に帰る時こくを守って、安全に生活している。	3.7	3.7
お子さんは、元気よく外で遊んだり、体力づくりをがんばったりしている。	3.0	3.2	元気よく外やこどうで遊んだり、体力づくりをがんばったりしている。	3.4	3.4
学校では、病気やけがの予防など健康・安全教育を行っている。	3.5	3.5			
学校は、お子さん達の安全のための環境を十分整えている。	3.4	3.5			

1. 集計結果とめざす取り組みの方向

(1) 子ども達の基本的な生活習慣について

昨年度とおおむね同じような傾向にあります。特に朝ご飯については、家庭のご協力により、朝食をとる習慣が定着していることがうかがえます。さらに、「早寝」「早起き」がそれに近づけるようにして、生活リズムをさらに整えていく必要があります。

メディア利用に関する「家での約束を守っている」については、児童回答と保護者回答に差が見られます。ご家庭での約束づくりが広がっていることがうかがわれる一方で、保護者と児童では、ルールを守ることにに対する認識に違いがあると言えます。

携帯電話やスマートフォン、ゲーム等のメディアに触れる時間は、学年が上がるにつれて長時間化する傾向があります。帰宅後、メディアに触れる時間が増えることは、家庭学習の時間や就寝時刻に影響を与え、生活リズムの乱れにつながります。また、触れる内容によっては、子どもの健全育成に影響を与えることが危惧されます。メディアに関わる学習は、全学年が、学級活動の時間や発育測定時間の保健指導等で行ったりしています。今後も学年に応じた指導を継続し、子ども達が正しい知識と行動を身に付けられるようにします。引き続き、ご家庭でも約束づくりとその確認の継続等のご協力をお願いします。

また、生活チャレンジシートの取組を通して、基本的な生活習慣とメディアに触れる時間の見直しについて取り組んできました。今後も継続するとともに、子ども達の生活の様子と課題を保健便り等でお知らせすることにより、保護者の皆様と一緒に子ども達の良好な基本的な生活習慣の定着を図ります。

(2) 子ども達への保健安全指導について

「元気よく外で遊んだり、体力作りをがんばったりしている」「交通ルールや帰宅時刻を守って安全に生活している」といった健康・安全教育の項目が全て3点以上となりました。

月に一度、生徒指導部が「生活だより」を発行し、子ども達の生活の様子や学校での取組、保護者の皆様へのお願い等をお伝えしています。今後も発行し、生活目標の取組や安全指導等について保護者の皆様に理解していただけるよう努めるとともに連携を図ります。

Ⅳ 家庭・地域との連携について

保護者アンケート	令和4年度	令和3年度
学校は、保護者さんに教育目標や取組の重点を分かりやすく伝えている。	3.2	3.1
学校は、保護者さんと密接に連携を図りながら、お子さんの状況について対応している。	3.3	3.2
学校は、お子さん達の様子をホームページや学校便り、懇談会などでよく知らせている。	3.5	3.3
学校は、スクールメールの活用により迅速に情報発信をしている。	3.7	3.5
学校は、地域の豊かな人材、文化や自然等を生かしながら教育活動に取り組んでいる。	3.4	3.4

1. 集計結果とめざす取り組みの方向

全体的に昨年度より上がっていました。ただ、学校からの情報発信については、現在の取組状況を見直し、より分かりやすく情報発信をしていく必要があります。3学期より、これまでプリント等でお伝えしていたお知らせ等を、メール配信等でお知らせするよう変更しました。

家庭と学校との連携のために、学校からの発信を今後も続けます。ホームページでは、「広報」や「活動の様子」等で、日々の学校の取組や子ども達の活動の様子を紹介しています。

スクールメールは全てのご家庭に参加登録していただき、情報発信することができました。来年度から校支援メールに連絡手段が切り替わり、保護者の皆様に登録のご協力をいただいています。今後も、安全にかかわる緊急事態が発生した場合や学校からの連絡事項について、迅速に情報を発信することに努め、保護者の皆様と連携して子ども達の安心・安全を守っていきたくと考えています。

この学校評価に関わるアンケートが、子ども達の健やかな成長に、そして、保護者の皆様、地域の皆様からの信頼を得られる開かれた学校づくりにつながるよう、職員一同全力を尽くします。アンケートにご協力いただきありがとうございました。

(文責) 校長：江戸 宣文 主幹教諭：山下 裕樹